

事務事業評価シート（委員会用）

事務事業名称	職員研修事業
--------	--------

【内部評価に対する検証】

評価項目	評価基準	点数
計画性	事業目的が明確であり、適切な計画・目標を設定しているか。 「4」…事業目的と目的達成のための計画が適切である。 「2」…事業目的は明確であるが、計画が不十分である。 「1」…事業目的が明確でなく、成果が見込めない。	2
	(理由) 「目指すべき職員像」は素晴らしいが、それを達成できるような計画にはなっていない。	
取組内容の的確さ	事業内容、取組内容が的確か。 「4」…事業目的を達成するために十分な取組を行っている。 「3」…目的達成のための取組ではあるが、量や実施回数が足りない。 「2」…取組自体は十分に行われているが、事業目的からズレている。 「1」…目的を達成するための取組ができていない。	1
	(理由) 県内の他市と比較しても、現状ではありきたりの委託研修しか実施していない。これでは「目指すべき職員像」に到達することはない。	
効果・成果	これまでの事業の効果・成果は十分か 「4」…事業目的に沿った十分な効果・成果が出ている。 「2」…(副次的な)成果は出ているが、事業目的からはズレている。 「2」…十分な成果が出ているとは言い難い。 「1」…全く成果が出ていない。	2
	(理由) 事業計画や取り組み内容を見ても、所管課記載の取り組みの成果を見ても、十分な成果が出ているとは思えない。	

【事業の検証】

評価項目	評価基準	点数
必要性	今の社会状況や市民ニーズなどから判断して、事業の必要性は高いか。 「4」…非常に高い。(必須である) 「3」…必要性が高い。 「2」…必要性が低い。 「1」…必要性を感じない。	4
	(理由) 職員数が減少する中で職員の能力開発や資質向上という部分は絶対に必要であり、そのためにも職員研修は必須である。	
市の役割	市と民間等の役割から、市が事業を行う必要があるのか。 「4」…市が行うべきものである。 「3」…これからも市が主体となって行うべきものである。 「2」…これからは市の関わりを減らしていくべきものである。 「1」…民間等に任せるべきものである。	4
	(理由) この事業にはなじまない項目だが、当然市が行うべきものである。	

